

●人権推進部会研修

人権学習の幅や視野を広げるべく、日帰り研修として県内外の人権に関する地を視察し、その地の関係者の説明や講義を受け、大きな刺激を受けています。

- ・平成25年10月21日『丹波マンガ記念館』（京都市）

朝鮮から強制連行された方や被差別部落の方が鉱山で過酷な労働を強いられたこと、また、その作業によって肺にマンガンの欠片が入り、肺を患い命を失った方が多くおられたことなど、館長の講義によって悲しい歴史に触れることができました。人を人として見ず酷い扱いをしてきたという『加害の歴史』に目を背けてはならないと強く心に訴えかけられた研修となりました。



- ・平成26年10月5日、人権のふるさと『水平社博物館』（奈良県御所市）
西光万吉さんを中心とした地域の若者たちは、子どもの頃から長い間いわれのない差別に苦しんできました。若者たちは差別に立ち向かうため団結し、その後京都で「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という宣言の下『全国水平社』を創立し、活動は全国へと広がっていきました。「差別される側に問題があるのではなく、差別する側に問題がある」という考えは、現代のあらゆる人権問題にも通じるものだと改めて感じました。

- ・平成28年10月13日『滋賀県水平社発祥の地、厳浄寺』（甲賀市）

いわれのない差別を受け苦しんできた人々がその不合理さに目覚め、水平社を立ち上げるまでの歴史を、ご住職の森 直道さんに熱く語っていただきました。全国水平社がその方針の違いから分裂した時に当時の発起人の一人でもあった南 梅吉さん（桐原若宮町出身）と行動を共にしたのが、この地から立ち上がった人々だったということが寺の古文書に記されているそうです。熱心な説明の中に当時の人々の気質を感じとることができ、時がたつのも忘れるほどの充実した研修でした。



●その他

- ・まち協事業における啓発活動

文化祭において、人権パネルの展示とオレンジリボンの配布＆お面づくりコーナー担当

※オレンジリボン：児童虐待防止運動のシンボル

- ・近江八幡市の人権フェスティバル…フェスティバルの運営役員やうどん等の模擬店担当
- ・県民のつどい…滋賀県主催『人権尊重と部落解放をめざす県民のつどい』への個別参加

男女共同参画推進協議会

●設立総会

男女共同参画おうみはちまん2020プラン基本計画に基づき、男女の個人としての尊厳が重んじられ、それぞれの個性や能力を発揮する機会の確保に努めようという理念を学区内に普及するべく、平成26年4月16日に桐原学区男女共同参画推進協議会を立ち上げました。

現在、男女の人権という観点から人権推進部会に所属し、「住みよいまちづくり推進講座」の一郭を担うなどの活動を続けています。



人材育成部会

人材育成部会は桐原学区まち協傘下8部会の一つとして、青少年育成学区民会議、主任児童委員、少年補導委員会、子育てサポーター、子育てコーディネーター、幼・小・中教員およびPTA、保育所職員と保護者会、八幡西子どもセンターで構成されています。

基本方針

「地域を愛し、地域に根付く人材を育て、活力ある社会づくりを目指す」

青少年・高齢者等全ての人が教え学び合い、青少年の健全育成の推進を図るとともに人として身を修め、郷土愛を高め、活力とゆとりある地域社会を構築する。

上記の基本方針を踏まえ、部会を開催しています。部会では、各機関・団体の現在の取り組みについて情報交換（研修）をしたり、相互理解と資質向上に努めています。

青少年育成学区民会議

●環境浄化と初発型非行の防止活動

青少年にふさわしい環境づくりを目指して初発型非行防止の夜間パトロール等を実施しています。

●啓発事業協力、青少年育成市民会議との関連事業

- 桐原学区協働まちづくり協議会主催の事業（住みよいまちづくり推進講座、運動会、文化祭等）への参加と協力
- 「社会を明るくする運動学区民大会」の開催
平成26年から青少年育成学区民会議が主管となり開催しています。小中学生の優秀作文の表彰や講師による時宜にかなった講演会を行っています。



平成29年7月 社明大会

●学校・園・所 後援活動

小学校における「防災教室」（避難所の設営や非常食の試食）や中学校における花いっぱい運動など、要請に基づきお手伝いをしています。



平成29年桐原東小学校防災教室



平成28年八幡西中学校花いっぱい運動

●愛の学校訪問・あいさつ運動



平成25年7月 愛の学校訪問



平成28年1月 あいさつ運動

●子ども体験活動

子ども達に、普段の生活ではなかなか体験することがないことや少なくなっていることを、学校という枠を超えて楽しく参加してもらえるように取り組んでいます。

最近では、おやつづくり・星空観察・ヨシ灯りづくり・文化祭における子ども模擬店でコーヒーを淹れポップコーンを作り販売等々行っています。

また、3月には日野川下流河川敷における「日野川の森 植樹会」にも参加しています。



平成27年3月 植樹会



平成27年7月 おやつづくり

●親子プレイステーション

子育てコーディネーターとサポーターが、未就園児とその保護者を対象に、子ども達が楽しく参加できるプログラムを組み毎回好評を得て大勢で賑わっています。



平成25年6月布芝居



平成30年4月開校式

●ふるさと文化事業

人材育成部会の青少年育成学区民会議は、平成21年桐原学区協働まちづくり協議会発足時より、ふるさと文化育成事業として、郷土の偉人である「熊澤蕃山」を研鑽・顕彰し、郷土のまちづくり事業としました。

「熊澤蕃山」は経世家として江戸時代を代表する人物で、中江藤樹と共に滋賀県はもとより全国的に今もよく知られた偉人です。

桐原では大正15年に当時の桐原村青年団員が熊澤蕃山先生に憧れ、奮起し、「蕃山のような人材が此の地より出でんことを願い」、当時の桐原村16か村（小字を含む）の賛同と、寄付金を得て、同年5月15日中小森村の竹藪（借地）に『蕃山先生勉学處』碑を建立されました。また、その後桐原尋常高等小学校では「熊澤蕃山」の教材が作成され授業教化され、毎年「蕃山祭」が行われていました。戦後はなくなりましたが、中小森町ではつい最近まで保存活動をされていました。そこで桐原まちづくり協議会として顕彰を図るため下記の事業を行いました。



部会の10年間主な活動成果

- ①桐原学区内の幼・小・中学校に『熊澤蕃山』『中江藤樹』の本を設置
- ②桐原コミセンの2階に「熊澤蕃山コーナー」を設け関係諸本を置く
- ③桐原コミセンの2階に蕃山ゆかりの写真を掲示
- ④蕃山ゆかりの地を訪ねる研修を実施
- ⑤平成30年には熊澤蕃山生誕400年の幟旗を新調、コミセン・学校・各町にたて、6月30日講演会・8月30日岡山県備前市での研修と、大事業を実施して、学区文化祭には掲示報告を行いました。



平成30年6月 蕃山研修会



平成30年8月 熊澤蕃山生誕400年記念研修会（岡山県備前市）

少年補導委員会

少年補導委員の活動は、近江八幡・竜王少年補導委員会・近江八幡市少年補導委員会はもとより、学校・民生委員児童委員協議会・保護司の有志者、団体等と協力し少年の非行防止、青少年の健全育成を目的として活動しています。

活動内容は、「薬物（たばこ含む）乱用防止」「万引き防止」「有害図書販売防止」等の啓発活動やパトロールを実施しています。

また、桐原学区青少年育成学区民会議等とも連携し活動に参加しています。



防災安全部会

防災安全部会は桐原学区まち協傘下8部会の一つとして、交通安全協会桐原支部、消防桐原分団の2団体で構成されています。

基本方針

「地域住民が安全で安心して暮らせる社会づくり」

水害・火災や交通事故等の災害に対して地域整備や防災意識を高め災害に強い地域社会を構築する。

交通安全協会

近江八幡地区交通安全協会桐原支部は、学区内における交通道德の普及および交通事故防止対策の推進を図り、交通秩序の確立交通安全の実現に寄与することを目的とし活動を行っています。

当支部の現数は規約第7条に基づき役員は、15名、支部員として各自治会から1名程度の地域安全推進委員の推薦を頂き、学区の安全・安心なまちづくりのため、交通事故を一件でも減らせる様、毎年次の活動事業を展開しています。

- ① 交通安全パトロール
- ② カーブミラー清掃とその周辺の除草
- ③ 毎月1日、15日小・中学校の通学道路における見守り等街頭啓発活動
- ④ 春期、秋期の全国交通安全期間中学区民への啓発活動
- ⑤ 学区内で実施される各種事業として、学区市民運動会、文化祭、福祉のつどい、小学校・幼稚園等における交通整理と警備活動
- ⑥ その他警察、市行政、近江八幡地区交通安全協会事業実施への参加協力活動



平成28年6月27～30日
学区交通安全七夕啓発実施



平成29年6月26日
近江路交通マナーアップ運動
(交通安全のぼり旗啓発活動)



平成29年6月28日 桐原支部総会

平成二十七年
十月十五日・二十八日
交通安全指導のため
高齢者宅を訪問実施
(上野町・中小森町・竹町)



平成29年4月10日 桐原小学校入学式、
春の全国交通安全週間の一環として
新入生(保護者)対象に安全啓発実施



平成29年7月30日 カーブミラー清掃の参加者



平成29年7月30日
カーブミラー清掃とその周辺の除草

消防桐原分団

●桐原学区協働まちづくり協議会10年史に寄せて

我々桐原消防団の10年間の歩みとして、「第5分団」から「桐原分団」と名称も変わり、団員全員の崇高なボランティア精神の下、毎年開催されております近江八幡市ポンプ操法訓練大会において、優勝、準優勝と大変素晴らしい結果を得ることが出来たことは大変喜ばしいことであり、ひとえに学区民の皆様のご理解ご協力を頂いたお陰であると感じております。桐原分団を代表して心より感謝申し上げます。

本来の我々の役目である安心安全な街づくりのために微力では御座いますが、学区民の皆様のお役に立てるよう日々訓練に励んでおります。

10年と言う一つの区切りでは御座いますが、今後において桐原学区を取り巻く環境が変わりましても学区民皆様のお役に立てる集団となれるようこれからも精神誠意消防団活動に邁進して参ります。

近江八幡市消防団 桐原分団



平成20年10月
近江八幡市消防団第5分団（現桐原分団）
消防車入魂式

平成25年9月 台風18号 桐原橋付近
桐原分団は水防活動と避難勧告の周知、
学区民の避難救助活動に奔走





平成28年3月
現コミュニティセンターへ



平成27年8月 避難所HUG訓練
(旧コミュニティセンターにて)
HUGとはH避難所・U運営・Gゲームの略
大規模震災が起こったと想定して、
避難所に来る人を誘導する仮想訓練



平成28年6月	近江八幡市ポンプ操法訓練大会	小型の部	優勝
同 8月	滋賀県消防操法訓練大会初	出場	
平成29年6月	近江八幡市ポンプ操法訓練大会	自動車の部	優勝／小型の部 準優勝
同 8月	滋賀県消防操法訓練大会	連続出場	
平成30年6月	近江八幡市ポンプ操法訓練大会	自動車の部	優勝／小型の部 準優勝
同 8月	滋賀県消防操法訓練大会	連続出場	

地域環境部会

地域環境部会は桐原学区まち協傘下8部会の一つとして、主に環境推進協議会により構成されます。学区内の環境美化、ゴミの削減、緑化活動など、環境保護に関する意識高揚を図る活動を行います。

基本方針

「歴史と自然にかこまれたやすらぎのある社会づくり」

歴史や文化を継承し、誇りと愛着心を育て、環境意識の向上と景観形成活動の推進を図りやすらぎのある地域社会を構築する。

環境推進協議会

平成22年度に「桐原学区さわやか環境推進協議会」として発足し、平成23年度から「桐原学区環境推進協議会」と名称を変え今日まで活動を行っております。

●環境パトロール

月1～2回、学区内の日野川・白鳥川河川敷を車両にて巡回し、不法投棄がないかパトロールを行っています。当会発足当時は不法投棄監視委員会を中心に活動を行っていましたが、平成28年度に市の不法投棄監視委員会が廃止された後も、当会独自で活動を継続しています。また、平成29年度に自治連合会からまち協に車両の寄付があり、巡回に使用できるようになり、ますます活動がしやすくなりました。



マットレス・布団等の大型ごみ（30年度）

●生ごみ堆肥化講習会

市民・生ごみリサイクルプロジェクトの皆さんの指導のもと、毎年開催しています。ピートモス・燐炭・米ぬかなどの材料を混ぜ合わせ、段ボールのコンポストに投入し、バクテリアの力で生ごみを堆肥化します。毎年当会役員だけでなく一般の参加者も多く、学区内に堆肥化の活動が浸透しつつあります。





平成28年度 近江八幡市環境エネルギーセンター

●研修

毎年役員研修として、県内外のクリーンセンター等の施設を訪れました。平成28年に竹町の近江八幡市環境エネルギーセンターが稼働してからは、市内のゴミ処理の現状についてより詳しく学ぶために毎年研修に訪れています。



平成26年度 栗東市環境センター



平成27年度 三重リサイクルセンター



近江八幡市環境エネルギーセンター

●緑のカーテン事業

平成23年度より、温暖化対策の一環としてゴーヤ苗の配布を行っています。事業開始当初は、8自治会のみ配布でしたが、平成27年度からは、土やプランターなどの材料を無くし苗のみの配布にしたところ一般家庭にも配布することができ、より多くの家庭にゴーヤカーテンを普及することができました。



●河川清掃

毎年11月23日に、自治連合会による日野川・白鳥川の河川清掃が開催されており、平成25年度より当会も参加しています。

●コミセン清掃（葉刈り）

平成25年度から27年度まで、旧桐原コミュニティセンター駐車場周辺のサツキの葉刈りを行いました。新コミセンに移動してからは、サツキの成長に合わせ、30年度から再開しました。



●桐原きりこちゃん●

桐原学区のマスコットキャラクター

平成23年度まち協だより11月にて公募し、翌年24年3月のまちづくりフェスティバルにて投票を行いキャラクターが決定しました。

キャラクター決定後は、まちづくり協議会の封筒の挿絵として、また文化祭での『きりこちゃんお面作り』などでイラストが活用されましたが、平成25年春、ついに立体化に向けて動き出しました。



学区のボランティアの皆さんで知恵を出し合ってコスチュームを作りました。



平成25年度桐原学区市民運動会でデビュー!!
学区住民の皆さんにお披露目しました。



平成25年度 まち協事業発表会

平成30年12月、お友達のきりたくんが登場しました。



平成26年度 信長まつりに参加



桐原学区市民運動会での募金活動

お披露目以降、学区内外に活躍の場を拓げました。

皆さん、これからもきりこちゃん・きりたくんをよろしくおねがいします!



平成25年度 近畿スポーツ推進員研究協議会に参加

●思い出ギャラリー●

～旧コミュニティセンター～



●編集後記●

平成20年4月に施行された市の協働のまちづくり基本条例により今までの公民館時代とは違った新しいまちづくりを進めるために取り組みを始めて早くも10年が経過しました。その間、閃光のような変化の早い期間だったと思います。

インフルエンザの流行により予定の行事が中止になると即座にフェスティバルを開催して学区民に協働まちづくり活動をアピールしたこと、そこにきりこちゃん誕生の原点があったこと、積極的に先進地研修を重ねたこと、収益事業として当協議会機関紙への広告掲載を始めたこと等が思い出されます。

この10年間の活動はいずれも「桐原学区を自分達で良くする。」という強い意志がこめられています。

今後の社会情勢は高齢化がさらに進み、外国人労働者が増えるなどより複雑化してゆくのは桐原学区でも例外ではありません。この10周年記念誌がこれからの桐原学区の歴史を作り上げてゆかれる皆さんのまちづくり活動の一助になればこれ以上の喜びはありません。

最後に、多くの皆様のご理解とご協力を示して頂きましたことにより発刊できましたことに深く感謝申し上げます。

桐原学区協働まちづくり協議会10周年記念誌発刊委員会
事務局 菅原 昭



桐原学区協働まちづくり協議会10周年記念誌

発行 平成 30年 12月 19日

企画編集 10周年記念誌発刊委員会

発行元 桐原学区協働まちづくり協議会

印刷 IRIE WORKS